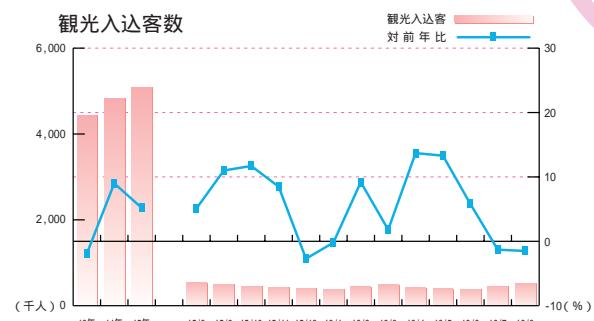




觀光

観光	経済動向
平成16年10月 台風の影響などみられるものの高水準を維持	 (不变)
平成16年7月 高水準で維持	



どかみられるものの、引き続きフリープランが人気となっており、高水準を維持している。なお、主要ホテルの客室稼働率は、ホテルの新設が相次いだことによる宿泊客の分散などから低下している。一方、客室単価は、値戻しの動きが続いている、前年を上回っている。観光関連施設の入場者数は、美ら海水族館のオープン効果が一巡したことなどから、前年を下回っている。先行きについては、修学旅行、フリープラン等の予約状況が前年を上回つていいことから、引き続き高水準で推移する見込みとなっている。



月	対前年比 (%)
11/1	15
11/12	-5
12/1	2
12/12	15
1/1	2
1/12	15
2/1	10
2/12	18
3/1	15
3/12	18
4/1	18
4/12	15
5/1	10
5/12	5
6/1	2
6/12	2
7/1	2
7/12	2
8/1	2



雇用情勢

雇用情勢	経済動向
平成16年10月 改善の動きが続いている	(不変)
平成16年7月 依然として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる	

雇用情勢をみると、有効求人倍率は緩やかに改善の動きが続いている。新規求人件数は引き続き増加しており、就職件数も増加している。このように、改善の動きが続いている。

## 総括判断

## 経済動向

平成16年10月  
管内経済は、台風等の影響から一服感がみられるものの、持ち直しの動きが続いている。先行きについては、持ち直しの動きが持続する見込み。



平成16年7月  
一部に厳しさがみられるもの、全体として持ち直しの動きが強まっている。

企業の景況感  
現状(十六年)

**企業の景況感**

現状（十六年七月～九月期）は「下降」超。先行きは「上昇」超に転じる見通し。

六・九%増、下期三・五%減）。業種別にみると、製造業、非製造業とともに増益見通しどなつている。

企業収益  
十六年度は、六・一%の増益見通し（上期十六・九%増、下期三・五%減）。業種別にみると、全体では前年を下回っている。

持家、貸家、分譲でいざれも前年を下回つてゐることから、全体でも前年を下回つてゐる。

# 管內経済情勢報告

管内経済は、台風等の影響から一服感がみられるものの、持ち直しの動きが続いている。先行きについては、持ち直しの動きが持続する見込み。

## ポイント

生産活動は盛り上がりに欠け、個人消費は天候要因などによる影響から横ばいで推移し、雇用情勢は改善の動きが続いている、観光は台風の影響などがみられるものの高水準を維持している。先行きについては、観光が高水準で推移し、個人消費は底堅く推移すると見込まれることから、持ち直しの動きが持続する見込み。

天候要因などによる影響から横ばいで推移

個人消費をみると、百貨店は郊外への大型スーパー出店の影響などから依然として前年を下回っている。主要スーパーは、昨年の猛暑の反動や台風の影響などがみられるものの新規出店効果により主力の飲食料品が堅調なことからほぼ前年並みとなっている。コンビニエンスストアは堅調に推移している。

耐久消費財では、家電量販店は、エアコンが昨年の猛暑の反動により低調なことなどから、前年を下回っている。自動車販売は、新車販売が、普通乗用車や軽乗用車が好調なことから、前年を上回っている。中古車販売は、堅調に推移している。

このように、個人消費は、全体としてみれば、天候要因などによる影響から、横ばいで推移している。

先行きについては、主要スーパーの飲食料品やコンビニエンスストアが引き続き堅調なことや台風シーズンが終了することから、当面、底堅く推移するものと見込まれる。

期間	新車登録台数	大型小売店等	中古車登録台数
平成16年10月 天候要因などによる影響から横ばいで推移	10.0	5.0	2.5
平成16年7月 底堅く推移	7.1	1.8	0.7

生産	経済動向
平成16年10月 一部に動きがみられるもの の盛り上がりに欠ける	 (下方修正)
平成16年7月 持ち直しの兆し	

